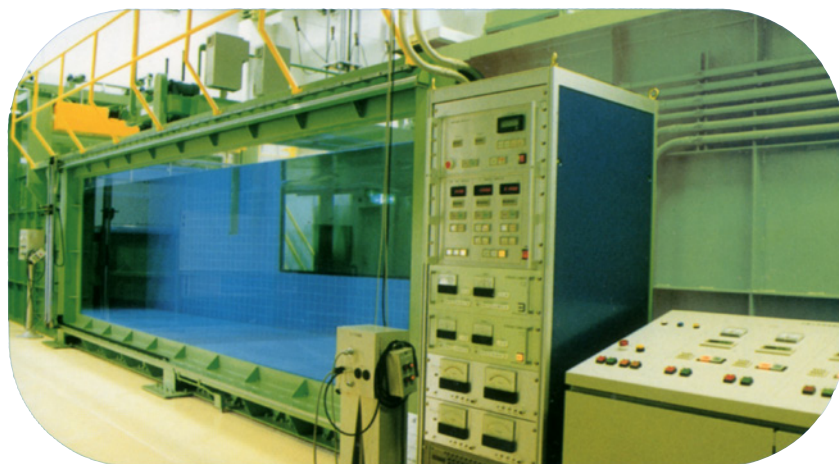


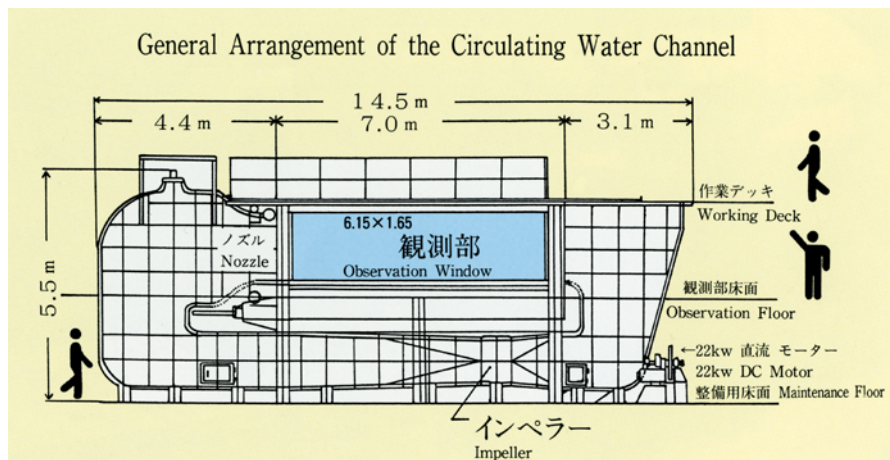
神奈川県水産技術センター 相模湾試験場

水産工学実験用 垂直循環型

回流水槽



インペラー垂直循環型回流水槽

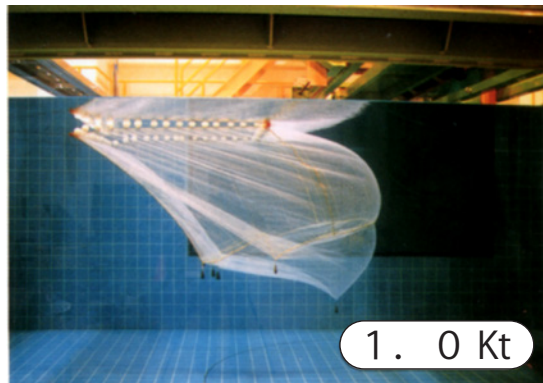
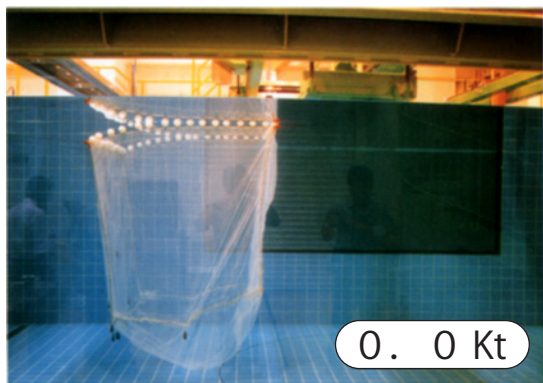


- ※②→ 神奈川県での最大の二段落網の 1/100 模型が収納可能
- ※②→ 観測部ガラスの 1 枚化 (6.1m×1.6m) により模型の全体観察が可能
- ※⑦→ 表面や底付近の流速をコントロールして二重潮による実験が可能
- ※⑧→ 水深調整機能を備え、各種水深の漁具実験が可能
- ※⑨→ 運転の自動化 潮速分布・張力・圧力・3分力
- ※⑩→ 回流水槽の水位を調整

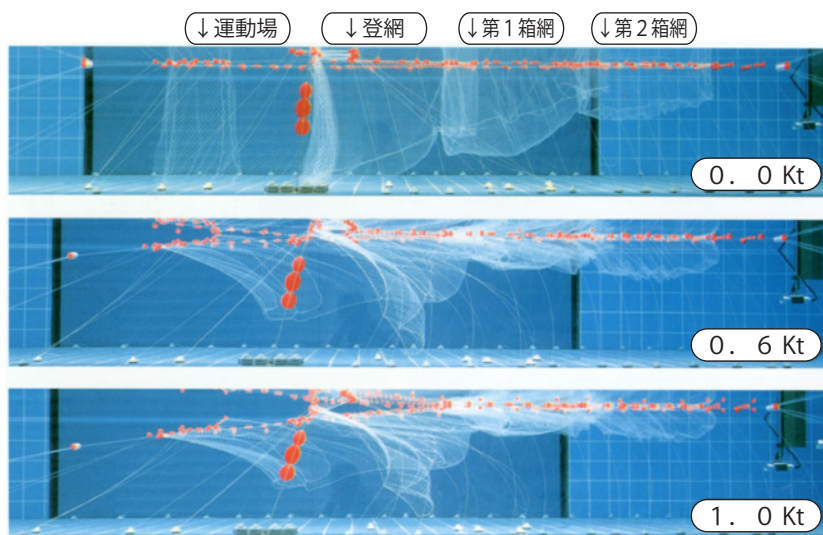
回流水槽要目

- ① 形式：2インペラ垂直循環型回流水槽
- ② 回流水槽の大きさ：長さ 14.5m 高さ 5.5m 幅 4.2m
測定部寸法：長さ 7.0m 高さ 1.5m 幅 3.0m
- ③ 材質：SUS316 及び FRP
- ④ 水量：140 トン
- ⑤ 最大流速：1.0m/s
- ⑥ 推進機：2インペラ単独駆動方式 22kw 直流 ×2
- ⑦ 表面・底面加速装置：MVR 加速方式
- ⑧ 移動床
- ⑨ 自動運転計測器
- ⑩ レーザー光網容積測定装置
- ⑪ 3次元運動画像解析装置
- ⑫ 水位調整水槽：14t
- ⑬ 制作：西日本流体技研株式会社

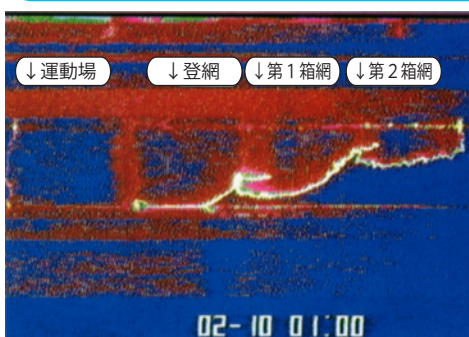
移送生簀網の網成観察



定置網の網成観察 (2段階落網)



レーザー光線による網断面の計測



レーザー光線を網に照射して、その断面を可視化します。その映像から、流れの変化に伴って起きる網各部分の変化量を測定したり、画像解析装置を用いて、網内の容積測定を行います。